

<p>◆ 主題名 (生徒に提示するもの)</p>	<p>なぜに、ふるさととは愛おしい？</p>
------------------------------	------------------------

内容項目	見出し	教材名
C - 16	郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	私の中の「ふるさと」 (「かけがえのないきみだから3」:学研教育みらい)
価値項目		
1・2・3・4 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努める		
本時のねらい		
郷土(ふるさと)の真の価値は、他に誇れるものにあるのではなく、自己に蓄積された「思い(出)」に見いだすものであることに気付かせ、だからこそ大切にしたいという心情を抱かせ		

主題発問に向かうための導入・場面発問	
導入	発問 ふるさと(佐賀県・上峰町)自慢をしよう。
	補助発問 佐賀県(上峰町)が誇れるものを挙げてみよう。
場面①	発問 どうして、「私」は出身地を隠すようなことをしたのだろう。
	補助発問 出身地を隠しながら、どんな気持ちになっていたのだろうか。
場面②	発問 帰省中に、「私」が涙したきっかけは何だろう。
	補助発問 電車内で触れたもの・思い出したものは何か。
場面③	発問 無人駅で一人つぶやいた「私」の心の中には、 どんな思いが渦巻いていたのだろう。
	補助発問 場面①→場面②への心境の変化がヒント。

◆ 主題発問	佐賀に帰り住むようになった「私」は、子どもたちに対して「ふるさとの良さ」とはどういうものだと語るのだろう。
--------	---

◆ 学び合い活動	場面発問①	場面発問②	場面発問③	主題発問
	個 ⇨ ( ペア ・ グループ ・ フリー ) ⇨ 個			

留意点等	<p>「ふるさと」って、自慢しなければいけないの？ 他と比べなきゃいけないの？ 郷土の歴史を知らないと愛していることにならないの？・・・「郷土を誇る学習」とは全く違う捉え方でこの教材を選びました。</p> <p>自分にとって安心できる居場所であったり、味であったり、人であったり・・・そういうものが「ふるさと」のいいところではないのかなあ。もっと肩の力を抜いて、自分本位で「ふるさと」を考えたいなあ。そういう、まったりとした雰囲気の中で「ふるさと」を捉えてもらえたら最高です。名所よりも思い出の詰まった近くの空き地、郷土料理よりも慣れ親しんだ家庭の味、遠い昔の偉人よりも近所の面白い友達・・・そんなものを大切にしながら、「ふるさと」を愛してほしいと思います。離れてみて初めて分かる「ふるさと</p>
------	---

